

●手賀沼水面鳥類センサス結果

調査日:2012年9月13日、10月19日、11月13日(9:00~13:00)

科名	種名	個体数 (9月)	(10月)	(11月)
カイツブリ	カイツブリ	11	18	18
	ハジロカイツブリ	0	0	6
	カンムリカイツブリ	0	2	42
ウ	カワウ	141	138	123
サギ	ゴイサギ	3	0	0
	ダイサギ	24	9	16
	チュウサギ	3	0	0
	コサギ	15	11	15
	アオサギ	12	9	22
カモ	コブハクチョウ	15	28	26
	マガモ	0	8	18
	カルガモ	52	98	54
	コガモ	0	53	255
	オナガガモ	0	67	134
	キンクロハジロ	0	12	0
タカ	ミサゴ	1	1	1
クイナ	バン	1	1	0
	オオバン	7	18	39
シギ	イソシギ	1	0	0
	セイタカシギ	3	0	0
カモメ	ユリカモメ	0	0	14
	セグロカモメ	0	3	2
	アジサシsp	0	1	0
カワセミ	カワセミ	4	2	1
ツバメ	ツバメ	4	0	0
セキレイ	セグロセキレイ	0	1	2
カラス	ハシボソガラス	1	0	12
家禽や外来種	ドバト	1	0	0
	バリケン	0	2	2
	アヒル	2	3	3
合計	26種*	301	485	805

*種数は不明、家禽や外来種を除く

●岡発戸の谷津田鳥類センサス結果

調査日:2012年9月14日、10月19日、11月15日(9:00~12:00)

科名	種名	個体数 (9月)	(10月)	(11月)
サギ	アオサギ	0	0	1
キジ	キジ	0	1	0
ハト	キジバト	4	2	1
キツツキ	コゲラ	1	1	3
ツバメ	ツバメ	4	0	0
セキレイ	キセキレイ	0	0	1
	ハクセキレイ	1	3	2
	セグロセキレイ	2	3	2
ヒヨドリ	ヒヨドリ	17	104	94
モズ	モズ	1	5	0
ツグミ	ジョウビタキ	0	0	1
	ツグミ	0	0	8
	ツグミ科sp	0	0	5
ウグイス	ウグイス	0	2	3
ヒタキ	ヒタキ科sp	0	1	1
シジュウカラ	ヤマガラ	3	2	1
	シジュウカラ	8	7	10
メジロ	メジロ	7	4	21
ホオジロ	ホオジロ	2	15	13
	カシラダカ	0	0	8
	アオジ	0	6	7
	クロジ	0	1	0
アトリ	カワラヒワ	0	4	27
	ウソ	0	0	1
	イカル	0	1	0
ハタオリドリ	シメ	0	22	0
	スズメ	53	6	2
	ハシボソガラス	1	4	9
カラス	ハシブトガラス	6	6	10
	カラス科sp	0	0	21
	合計	27種*	110	200

あびこ鳥だより

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.32

Winter
2013
【冬号】



<目次>

特集ページ・・・・・・・・・・ 2

今、我孫子のカラスがおもしろい

最新情報・・・・・・・・・・ 3

2月より新企画展「身近な鳥を調べてみたら」がスタート!

鳥博セミナー「イラスト野鳥図鑑製作の現場から」のご案内

あびこ自然観察隊「オーイ!冬鳥くん」に参加しよう!

イベント情報・・・・・・・・・・ 3

我孫子市鳥類調査結果・・ 4

利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
館内整理日、年末年始(12/29~31、1/1~4)
- 入館料

区分	個人	団体(20名以上)
一般	300円	240円
高校生、大学生	200円	160円
小・中学生	免除	免除

*以下の方は入館料が免除されます

- ①70歳以上の方 ②障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名含む)

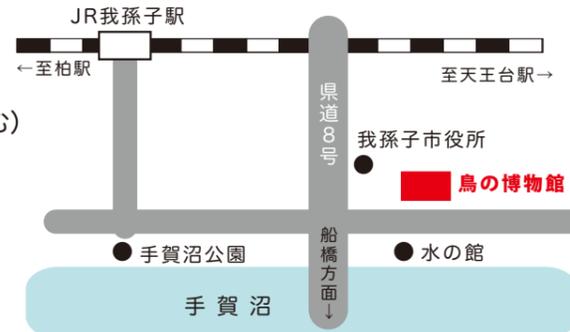
●お問い合わせ:我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山234-3
☎:04-7185-2212 FAX:04-7185-0639
ホームページ: <http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp/>

交通案内

- 電車とバス利用
JR我孫子駅下車、我孫子駅南口バス停より市役所経由バスで「市役所」下車、徒歩5分
*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行しています
我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館」下車

- 自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場あり)



表紙の鳥 コミミズク
写真提供 野口 隆也さん
(鳥の博物館友の会)

今、あびこのカラスがおもしろい

手賀沼周辺でみられるカラスはハシブトガラスとハシボソガラスの2種でしたが、最近はミヤマガラスとコクマルガラスが観察されています。なァ〜んだ！カラスかと見過ごさずに鳴き声や大きさに注意して、カラスの基本を覚えて観察してみたらどうでしょう。

ハシブトガラス

体長約57cm、体重は550〜750g、翼開張は約1m、嘴が顔面から大きく太く突き出し、先端が鋭くなっています。嘴の長さは5〜7cmほどで、頭部の形から離れたところからでもハシブトガラスだと分かります。日本中どこでも見られますが、都会で見かけるカラスのほとんどはこのハシブトガラスです。カァ〜、カァ〜と澄んだ声で鳴きます。何でも食べる雑食屋ですが、どちらかと言うと肉を好み、野鳥のヒナや卵を食べたり、特に都会では生ゴミが格好な餌資源になっています。ヒトが出す生ゴミはハシブトガラスが都市に集まる主要因となっているようで、各地で問題になっています。産卵数は3〜5個です。



ハシブトガラス

ハシボソガラス

体長約50cm、体重は320〜690gで、体はハシブトガラスよりひと回り小さく、嘴の長さは4〜5cmほどで、形も他の鳥のようにスラリとしていて、ハシブトガラスほどの凄みはありません。

このカラスも南西諸島（沖縄島では冬期に越冬個体が渡ってくる）以外の日本中どこでも見かけます。一般には農村部に多く生息する田園のカラスです。餌もカエルや虫などの小動物、木の実や、畑作物の種や芽などを好んで食べます。ガー、ガーと濁った鳴き声からでもハシボソガラスだと分かります。産卵数は3〜5個です。道路にクルマを置いて自動車に轢かせて中身を食べる芸当をするのはハシボソガラスです。



ハシボソガラス

手賀沼周辺で見られるカラスはハシブトガラスとハシボソガラスが半々。都市化されているけれど適度な田園ということでしょうか。我孫子市の環境をよく表しています。

鳴き声以外にも歩き方で両種の識別ができます。ハシブトガラスが両足をそろえてジャンプして移動するのに対して、ハシボソガラスは交互に足を出してウォーキングするという特徴があります。どうも生息する環境から培った習性のようです。ハシブトガラスは密林の中で木の枝に止まって餌を待ち伏せして獲るのに対して、ハシボソガラスは開けた原野などの環境で歩きながら餌を探す散策型というわけです。

冬のあびこにやってくるカラスたち

冬、手賀沼周辺では渡りをするミヤマガラスとコクマルガラスが観察されています。ミヤマガラスの体はハシボソガラスよりひと回り小さく、嘴も小さく尖っています。嘴の付け根は皮ふが露出して白っぽいのが特徴です。鳴き声はハシボソガラスに似た声でガラララと小刻みに小さく鳴きます。冬鳥として、中国大陸から九州や本州の日本海側に渡ってきていたのですが、最近では飛来地の拡大で関東にもやってきました。数年前から我孫子にも姿を現すようになりました。

そのミヤマガラスの群れの中に更に小さく、キジバトより少し大きい位のコクマルガラスも観察されています。ぜひ、なァ〜んだカラスかと見過ごすのではなく、鳴き声や大きさを観察してみたらどうでしょう。



ミヤマガラス

コクマルガラス

イラスト引用：玉田克己.1996.カラス(1)繁殖生態と食性.植物防疫 特別増刊号 No.3「鳥害とその対策」

新企画展「身近な鳥を調べてみたら」がスタート！

2月から新しい企画展「身近な鳥を調べてみたら」がスタートします。博物館で行っている鳥類調査や市民参加型の調査でわかった、鳥たちの季節や時間による変化をご紹介します。また鳥の調べ方にもスポットを当て、身近な環境を自分で調べてみるきっかけになるような企画展です。ぜひご来館ください。

展示期間：平成25年2/9（土）〜平成25年6/30（日）



市民スタッフが参加したオオバン調査の様子

鳥博セミナー「イラスト野鳥図鑑製作の現場から」のご案内

鳥類イラストレーターの谷口高司さんを講師に招き、野鳥図鑑製作や日頃の活動についてお話していただきます。谷口さんは野鳥図鑑を一冊丸ごと図版から描くイラストレーターとしても知られており、国内外で活躍されています。

開催日：平成25年2/17（土）13:30〜15:00（定員50名）

*講師：谷口 高司さん

*参加希望の方は申込みが必要です。詳しくはイベント情報をご覧ください



谷口さんがイラストを担当した書籍（発行：公益財団法人日本野鳥の会）

あびこ自然観察隊「オーイ！冬鳥くん」に参加しよう！

「オーイ！冬鳥くん」は手賀の丘の森から手賀沼湖畔までを歩き、山野と水辺の鳥を両方を楽しめる観察会です。やさしい自然解説で、子どもから大人まで楽しめ、「しらべ学習」や自由研究にも役立ちます。ぜひご参加ください。

開催日 2/10（日） 9:00〜12:30（定員30名）

*参加希望の方は申込みが必要です。詳しくはイベント情報をご覧ください



ルリビタキ

イベント情報

●自然観察会*

○てがたん〜手賀沼定例探鳥会〜

時間：毎月第2土曜日 10:00〜12:00
集合場所：博物館玄関（予約不要）

○あびこ自然観察隊〜オーイ！冬鳥くん〜

日時：2月10日（日）9:00〜12:30
集合場所：鳥の博物館駐車場（予約必要）
定員：30名（小学生は保護者同伴）
申込み：1月16日より受付開始
詳細は広報あびこ1月16日号、博物館ホームページをご覧ください

○春の谷津田観察会

日時：3月20日（水・祝）9:00〜12:00
集合場所：JR東我孫子駅前（予約必要）
定員：30名
申込み：3月1日より受付開始
詳細は広報あびこ3月1日号、博物館ホームページをご覧ください

*自然観察会は高校生以上の方は保険料100円が必要です

*館内イベントは参加無料でも入館料が必要です

●館内イベント*

○新春イベント〜鳥風教室〜

日時：1月6日（日）13:30〜15:30
場所：博物館2階（参加無料・予約必要）
定員：20名

○鳥博ミュージアムコンサート（マンドリン）

日時：1月26日（土）17:30〜18:30
場所：博物館3階（参加無料・予約必要）
定員：50名
申込み：詳細は広報あびこ1月1日号、博物館ホームページをご覧ください

●講演・座談会

○鳥博セミナー

日時：2月17日（日）13:30〜15:00
場所：鳥の博物館多目的ホール（参加無料・予約必要）
定員：50名
講師：谷口高司さん
申込み：2月1日より受付開始
詳細は広報あびこ2月1日号、博物館ホームページをご覧ください

○テーマトーク

時間：毎月第2土曜日 13:15〜14:00
場所：博物館多目的ルーム（参加無料）
講師：山階鳥類研究所研究員

2013年1月〜3月